



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月7日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社  
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 西村 武  
 (氏名) 金谷 武志  
 TEL 076-276-1155

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,764	8.8	101	39.4	104	54.3	67	65.9
30年3月期第3四半期	2,539	2.2	73	△17.4	68	△27.6	40	△42.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	46.35	—
30年3月期第3四半期	27.93	—

(注)当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	3,757	1,462	38.9	1,000.27
30年3月期	3,466	1,411	40.7	965.49

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 1,462百万円 30年3月期 1,411百万円

(注)当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,634	6.5	133	32.8	139	51.4	90	57.0	62.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	1,467,233 株	30年3月期	1,467,233 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	5,594 株	30年3月期	5,462 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	1,461,738 株	30年3月期3Q	1,461,850 株

(注)当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復傾向が続き、また、海外においても米国経済が堅調に推移したとみられます。一方、米国の保護貿易的な政策動向や中国・ユーロ圏の経済減速等海外情勢の不安定さもあり、先行きは依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況下において当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、国内ではコンベヤチェーンの販売増加、海外では北米の販売増加により、売上高は2,764百万円（前年同四半期比8.8%増）となり、増収による影響で、営業利益101百万円（前年同四半期比39.4%増）、経常利益104百万円（前年同四半期比54.3%増）、四半期純利益67百万円（前年同四半期比65.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ① チェーン事業

国内では、搬送機械業界、工作機械業界、食品業界向けが好調に推移し、輸出においても、北米向けが増加しました。一方、原材料等の価格が上昇しました。これらの結果、売上高は2,608百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は216百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

## ② 金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大を図る営業活動を継続してまいりました。その結果、売上高は155百万円（前年同四半期比25.4%増）、営業利益は35百万円（前年同四半期比245.0%増）となりました。

## ③ その他事業

その他事業につきましては、賃貸ビルの改修工事により、売上高はなく（前年同四半期も売上なし）、営業損失は7百万円（前年同四半期は営業損失5百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は3,757百万円で前期末に比べて290百万円増加しました。これは、前期末と比べ、受取手形が69百万円、原材料及び貯蔵品が22百万円増加したことを主要因として、流動資産が2,373百万円と115百万円増加したこと、また、建物が142百万円、機械及び装置が13百万円、構築物（その他）が15百万円、無形固定資産が14百万円増加し、投資有価証券が16百万円減少したことを主要因として、固定資産が1,383百万円と175百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、2,295百万円で、前期末に比べて239百万円増加しました。これは、前期末と比べ、支払手形が50百万円、短期借入金が50百万円増加し、未払法人税等が11百万円、賞与引当金が26百万円減少したことを主要因として、流動負債が1,600百万円と61百万円増加したこと、また長期借入金が183百万円増加したこと等により、固定負債が694百万円と178百万円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、1,462百万円で、前期末と比べ50百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益67百万円の計上とその他有価証券評価差額金の減少16百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は38.9%になりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年11月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	323,176	335,213
受取手形	653,419	722,926
売掛金	508,508	510,250
商品及び製品	169,880	177,817
仕掛品	346,424	351,942
原材料及び貯蔵品	223,842	246,715
その他	33,804	29,400
貸倒引当金	△260	△270
流動資産合計	2,258,796	2,373,995
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	159,732	302,731
機械及び装置(純額)	339,919	353,353
土地	246,442	246,442
建設仮勘定	62,410	62,247
その他(純額)	18,052	42,981
有形固定資産合計	826,556	1,007,756
無形固定資産	11,475	25,887
投資その他の資産		
投資有価証券	133,199	117,005
その他	237,038	232,530
貸倒引当金	△469	—
投資その他の資産合計	369,769	349,535
固定資産合計	1,207,801	1,383,179
資産合計	3,466,597	3,757,175

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	490,610	540,886
買掛金	175,403	169,660
短期借入金	606,690	657,304
未払法人税等	26,379	14,474
賞与引当金	37,453	10,919
その他	202,256	207,221
流動負債合計	1,538,792	1,600,466
固定負債		
長期借入金	166,902	350,154
退職給付引当金	312,390	314,454
役員退職慰労引当金	37,194	30,068
固定負債合計	516,487	694,677
負債合計	2,055,280	2,295,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	172,600	240,358
自己株式	△5,816	△5,942
株主資本合計	1,401,964	1,469,595
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,353	△7,563
評価・換算差額等合計	9,353	△7,563
純資産合計	1,411,317	1,462,031
負債純資産合計	3,466,597	3,757,175

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,539,776	2,764,004
売上原価	2,095,818	2,278,695
売上総利益	443,958	485,309
販売費及び一般管理費	370,819	383,388
営業利益	73,139	101,921
営業外収益		
受取利息	82	65
受取配当金	3,034	3,166
保険解約返戻金	697	4,244
為替差益	3,233	5,862
その他	2,519	3,594
営業外収益合計	9,567	16,933
営業外費用		
支払利息	9,454	8,271
売上割引	4,125	4,826
その他	1,088	789
営業外費用合計	14,667	13,887
経常利益	68,040	104,967
特別利益		
固定資産売却益	119	419
特別利益合計	119	419
特別損失		
固定資産廃棄損	399	1,938
特別損失合計	399	1,938
税引前四半期純利益	67,760	103,448
法人税、住民税及び事業税	24,180	28,956
法人税等調整額	2,744	6,734
法人税等合計	26,925	35,691
四半期純利益	40,835	67,757

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,415,965	123,810	2,539,776	—	2,539,776	—	2,539,776
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,415,965	123,810	2,539,776	—	2,539,776	—	2,539,776
セグメント利益又は損失 (△)	209,066	10,226	219,293	△5,522	213,771	△140,631	73,139

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,608,745	155,258	2,764,004	—	2,764,004	—	2,764,004
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,608,745	155,258	2,764,004	—	2,764,004	—	2,764,004
セグメント利益又は損失 (△)	216,479	35,281	251,760	△7,402	244,358	△142,437	101,921

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。